

バージョンアップの注意事項

GUARDIANWALL 製品のバージョンアップを行うにあたって、以下の注意事項があります。

1. バージョンアップ時のご注意

(1) バージョンアッププログラムの選択について

バージョンアップを行う環境によりアップデート手順が異なります。バージョンアップを行う環境を確認し、適切な手順でアップデートを実行してください。

詳しくは【GUARDIANWALL バージョンアップの手引き】(6 ページ)をご参照ください。

(2) テープメディアへのバックアップ[追加]の廃止

GUARDIANWALL V6.0 以前は、【上書き】・【追加】の 2 モードのバックアップが可能でしたが、GUARDIANWALL V7.0 からデータベースに含まれるログ情報もバックアップ対象とすることが可能となり、追加モードを廃止致しました。

バックアップデータの損失を防ぐため、本バージョン以前のデータを格納しているテープを、バックアップ用にご使用にならないようお願いいたします。

(3) バックアップスケジューラについて

GUARDIANWALL V6.0 からバージョンアップする場合、テープへのバックアップに関するスケジューラの設定を一旦無効にし、バージョンアップ後、再度スケジューラの設定を行ってください。

設定を無効にせずにバージョンアップを行うと、設定が引き継がれ、管理画面上では「追加」モードと表示されます。しかし、実際のバックアップは「上書き」モードとなり、テープに従来のデータが存在すると、それらのデータは削除されてしまいますので、ご注意願います。

(4) NFS マウント可能なパーティションの変更について

GUARDIANWALL V7.0 より NFS マウントの可能なパーティションが変更となりました。下記ディレクトリを NFS マウントに指定してご使用の場合、バージョンアップ前に、パーティション構成の見直し/変更が必要になります。詳細は、別紙「GUARDIANWALL 4.0 パーティション構成ガイド」をご参照ください。

【NFS 対象ディレクトリ】

・バックアップディレクトリ

上記以外のディレクトリは NFS マウントの対象外となります。

(5) Postfix の設定について

Postfix がインストールされたマシンを管理サーバーとしてご使用の場合、インストール後に「管理サーバー 導入の手引き P.32」以外にも、下記管理サーバーの設定ファイル変更が必要です。

GUARDIANWALL V6.0 を導入されている場合も同様の設定が必要です。

設定がおこなわれていない場合、WEB 管理画面を操作、設定時に、エラーが発生する可能性があります。

```
# vi /opt/Guardian/Admin/etc/admin/admin.conf
```

上記設定ファイルに以下内容を追記

```
SendmailQueueDirectory = /var/spool/postfix
```

postfix のキューディレクトリが別ディレクトリである場合は、下線部をご指定のディレクトリ名でご入力ください。

(6) サポート OS の変更について

バージョンアップにともない、サポート対象となる Linux OS が変更されております。お客様の環境をご確認いただき、OS のバージョンアップをお願いいたします。

【サポート対象 OS】

- ・Red Hat Enterprise Linux AS Ver 3
- ・Red Hat Enterprise Linux AS Ver 4
- ・Red Hat Enterprise Linux ES Ver 3
- ・Red Hat Enterprise Linux ES Ver 4
- ・MIRACLE LINUX V3.0 -Asianux Inside
- ・MIRACLE LINUX V4.0 -Asianux Inside

その他の OS に関しては、お問い合わせください。

(7) その他

その他バージョンアップについては、本紙以外にも注意事項がございます。【GUARDIANWALL バージョンアップの手引き】、【GUARDIANWALL V7.0 for Linux Advanced モデルリリースノート】を確認の程お願いいたします。

2. 全文検索機能の導入について

GUARDIANWALL V7.0 から GUARDIANWALL 全文検索機能付き保存メール管理システム(以下、全文検索機能)は、GUARDIANWALL for Linux Advanced モデルに統合されました。GUARDIANWALL V6.0 以前のバージョンを購入されているお客様は、GUARDIANWALL V7.0 へのバージョンアップに伴い全文検索機能付き保存メール管理システムを無償で導入いただけます。

ただし、全文検索機能はオプション製品であり、導入のご判断はお客様でお願いいたします。導入される場合は、リリースノートおよび下記内容を十分ご確認ください。また、現在稼働中のシステムがお客様自身で導入されたものではなく、システムベンダ(システムインテグレータ)により構築・納入されたものである場合、まずはシステム納入ベンダ様へご相談ください。

なお、全文検索機能をご利用の場合、全文検索機能用のライセンスが必要となります。導入をご希望のお客様は、【Advanced 用全文検索機能ライセンス申請シート】に必要事項をご記入のうえ、弊社までご送付ください。

(1) 導入環境の注意事項

全文検索機能は負荷のかかる全文検索処理を実施するため、GUARDIANWALL 検査サーバーと GUARDIANWALL 管理サーバーはかならず別筐体に導入してください。ご利用の際には、新しいサーバーをご用意いただくか、バージョンアップの際に構成を変更していただく必要がございます。

1. (V5.x) 1 台構成の場合
2. (V6.0) 管理サーバーと検査サーバーが同一筐体で稼働している場合

詳しくは【GUARDIANWALL 全文検索機能付き保存メール管理システム 導入の手引き】(10 ページ)をご参照ください。